

第 20 回 中山間地域振興特別委員会記録

令和元年 9 月 20 日(金)

8 時 55 分～ 9 時 35 分

16 時 28 分～16 時 40 分

第 4 委 員 会 室

【出席者】 飛野委員長 布施副委員長 三浦委員 西川委員 川上委員 柳楽委員
串崎委員 上野委員 岡本委員 芦谷委員 永見委員

【議長団】

【委員外議員】

【事務局】 古森局長 下間係長 近重主任主事

議 題

1. 「情報・通信・交通の確保対策」について（提言に向けて）

8 時 55 分～ 9 時 35 分 修正（案）検討

16 時 28 分～16 時 40 分 最終（案）検討 → 決定

2. その他

今後の流れ

議長へ提言取りまとめの報告（委員長・副委員長）

市長へ提言書の提出（議長・委員長・副委員長）

9/30 本会議で中間報告（委員長）

○次回開催 未 定

飛野委員長

それでは、ただいまから令和元年 9 月 20 日の第 20 回中山間地域振興特別委員会を開会します。本日は、11 名全員出席で定足数に達しています。

1. 「情報・通信・交通の確保対策」について（提言に向けて）

飛野委員長

前回の 9 月 11 日の委員会では、「中山間地域振興に関する提言の素案」について、一部修正案をいただき、正副委員長で検討・修正を加えました。委員の皆さんには、その修正案を見え消しにして、事前に送っておりますので、本日は最終確認の会とします。

これから、副委員長が、その内容を読み上げていきます。

なお、10 時から予算決算委員会がありますので、最大 9 時 35 分を目途に、進めさせていただきます。

それでは、副委員長、お願いします。

布施副委員長

(以下、資料をもとに説明)

飛野委員長

副委員長から説明がありました。見直しすべき内容がございましたら、どの部分からでも結構ですので、ご意見のある方お願いします。

西川委員

3 ページの全部赤字で直してある最初の文章に主語がないように感じます。

西川委員

2 ページからの続きだというのは分かりますが、文章として一度切っているのに、他自治区も含めといった主語的な何かを入れた方が良いと思います。

布施副委員長

提言 1 の情報環境整備の所で、提言する(1)、(2)の前に、提言にするに至った大きな問題点はこの前文にあります。その考え方による(1)、(2)で提言していこうという意味合いなのですが、そこに文字を入れた方が分かりやすいなら入れても良いと思います。

芦谷委員

現在は「また」にしましょう。

布施副委員長

もう 1 回読みます。

(以下、資料を音読)

この辺ですよ。

芦谷委員

「現在」の代わりに「また」を入れればつながりませんか。

布施副委員長

もう 1 回読みますよ。

(以下、資料を音読)

どうですか皆さん。

飛野委員長

西川委員、いまのはどうですか。

柳楽委員

段落が変わっているのに、そこを変えずに「重要である」の所にそのままつなげてしまった方が良いのではないですか。

(同意の声複数あり)

古森局長

今言われた、「現在」以降の所が、主語がないからどこのことを示しているのか分からないということですね。放送が聞き取りにくい状況が

あるというのが、この流れだと浜田だけみたいに取り除かれるから。浜田以外も早期改善や電波不感地域解消につなげていかないといけないということですよ。

西川委員

「中山間地域においては」は一段落目と二段落目の頭に両方来ているので整理した方が。

布施副委員長
芦谷委員

切って段落をここに持ってくればいい。柳楽委員が言ったように。

しいて言えば、2回目の中山間地域という所を「更に」か「加えて」が付けば良いと思います。「中山間地域」を止めて。

布施副委員長

「更に」を入れなくてもそのまま防災無線が良いと思います。おかしくない。それで柳楽委員が言うように段落が変わっている所を「また」にしてここに持ってきたらつながるのではないの。

三浦委員

全体的にここの段落書き直した方が良くないですか。少し分かりにくいですよ。前に(1)と(2)と項目に分かれていたものを1個にしているので、多分それで伝えたいことが分かりにくい気がするのですが。接続詞等の問題ではないような気がします。

布施副委員長

前回(1)、(2)は1つの文章にした方が良いということで、まとめなければと直したのですが。意味合的に中山間地域特別委員会はこの文章でおおむね理解できたとしても、提言として他の議員さんが見たときに分かりづらいのであれば、もう少し(1)、(2)等、具体的な言葉を入れて分かりやすくするか。前回の論議にまた戻りますが、そこを決めて貰わないと。1つの文章にすれば、ある程度要約すればこのようにしかできない気がしたのです。ただ、提言する場合は、前文はある程度分かるように長くしても良いですが、その後の各論はあまり長すぎるとぼやける気がして。浜田自治区では個別受信機はないからポケットベルでも使って屋外無線もない状態です。ただ他の自治区は、戸別受信機はあるけど将来的にはアナログからデジタルに移行するのに、そういうものよりは同じならラジオのポケベル電波を使った方が良いというのが主だと思います。それを表すにはどうすれば良いか、皆さんに案があれば教えてください。

西川委員

(2)のタイトルは「防災設備の活用」ですが、文章中に防災設備の定義がないので分かりにくくなっていると思います。二段落目の「中山間地域において、の防災無線戸別受信機ケーブルテレビの活用はもちろんであるが、複数のデバイスを防災設備として活用できるようにしておけば」と入れると、防災設備が主語という印象が出てくる。その次の段落でもそれを受けて何か入れれば。防災設備が電波不感地域の解消になるはずだと思います。

布施副委員長
飛野委員長

今の活用という意味で防災設備を入れた方が良いという提案です。

ありがとうございます。他に意見はございませんか。今西川委員が言った部分はどうでしょう。

布施副委員長

西川委員が言われたのは、(2)の防災設備の活用ということで、目的はここにあるのですが、まず中山間地域においてはということなので5行目に

繰り返しているのです、2 回目に使われている部分は消して、「中山間地域においては防災行政無線が主要な情報受信設備として過去から活用されている。しかしこの防災行政無線もアナログからデジタルへの移行を求められており、利用可能期間も残り少ない。異常気象による災害多発、激甚化、地震などにより災害情報の伝達が確実性を求められている。防災無線戸別受信機、ケーブルテレビの利活用はもちろんであるが、複数のデバイス、装置、ハードウェアを防災設備として活用できるようにしておくことが重要である」ですね。どうですか皆さん。

飛野委員長

その部分はどうでしょう。

三浦委員

前を直すなら後ろも書き直した方が良いでしょう。

柳楽委員

次の所の「戸別受信機の設置が少なく」の後で、放送が聞き取りにくいのは多分屋外子局のことだと思うので、そこは「屋外子局」を入れておかないと。戸別受信機が聞き取りにくいと取られかねないと思うので。

布施副委員長

屋外子局のことを言っていたつもりなのだけど。

柳楽委員

屋外子局を文字として入れておく必要があるかなと。

岡本委員

浜田自治区はどこが発信元になるかという話になる。ないのでは。他の自治区は戸別受信機向けの発信元があるけど。

下間書記

確認しておきます。その結果によって「なく」か「少なく」かのどちらかになりますね。

飛野委員長

では確認してそれはそのように。

西川委員

その2行の文章の最後、「電波不感地域の解消の一助となる」とありますが、浜田自治区の戸別受信機が少なく屋外子局の音が聞き取りにくい状況を改善するのだから、電波が不感だからという問題ではないですね浜田自治区は。電波不感地域の解消という解決には当たらないです。

布施副委員長

ここでやらないといけないので、皆さんに知恵を出してもらって。

柳楽委員

今の電波不感地域の解消の一助となるというのは、前ページの複数デバイスを活用することによって、というところなのですが少し離れた状況にあるので。

布施副委員長

複数デバイスを防災設備として活用できるようにすることが。

西川委員

することにより。

柳楽委員

そこに持っていった方が良いでしょう。

古森局長

浜田子局は51あって、戸別受信機は244あると、5月に各課がきて説明してくれた際に防災安全課から出された資料の中にあります。

布施副委員長

行事なども情報として入れないと意味がないのでしょうか。主には防災無線だけど。

飛野委員長

他の部分について進めたいと思います。その他でお気づきの所があればご指摘ください。

古森局長

5ページ(3)イ「公共交通の利用促進」で、運転免許証の自主返納の言い回しについて前回色々言われました。音声聞きながらやったのですが、ここはこういう形でやったらどうかと。チェックをお願いします。

飛野委員長
柳楽委員

公共交通利用促進の部分です。大丈夫でしょうか。

イの公共交通の利用促進ということになっていますが、敬老福祉乗車券もそこに入れた方が良かったです。公共交通の後に。

古森局長
柳楽委員

見出しにですか。

はい。公共交通の利用促進と見出しにあります。そのすぐ後に敬老福祉乗車券の利用について書いてあって、イメージ的にそこが強い印象が残るので、それなら公共交通の利用促進と併せて敬老福祉乗車券も利用促進した方が良く、とした方が良くないかと思いました。

布施副委員長

これは時限的政策であって恒久的な政策ではないですが、それを含めて敬老乗車券は恒久的にすべきだという提言になりますよね。そういう言い方をしないといけないと思います。将来的にも敬老乗車券は公共交通を利用するのに必要だと、ここで訴えることが。財源がないから2年で終わりではいけないと、提言で言うことができます。

川上委員

敬老乗車券を補完する何かがあれば別に問題ないので。そういう書き方で良い。

柳楽委員

公共交通機関を使おうとすると、敬老福祉乗車券みたいな支援は必要なことだと思います。ただ、移動手段が、コミュニティワゴンが増えたりといった状況になっていくと、またそこは違うと思います。あまりそこが重要ではなくなる。公共交通の利用と出てきているので、それをしようと思えば乗車券は必要なのかと思って提案しました。

布施副委員長

提言前文の中でそういう問題は書いて、これを読んだらそういうことがあるから、こういうことをしましょうというのがア、イ、ウの項目なのです。前文のものをまたこの中に入れるとなると、分からないかなという思いがあります。

柳楽委員
三浦委員

特に必要なければ却下していただいて。

整理したのですが、この項目で何が言いたいかわからないという話で。防災設備の活用というのが、戸別受信機や屋外子局を使って情報を流すことは有効ですよ、ということがここで言いたいわけですが、まずは。しかし現状では屋外子局は聞こえにくく、戸別受信機は所持・不所持の差が市内にあり、加えてこれからデジタル化もあるから、これに頼り過ぎるのはどうか。提案としてはポケベルを整備するのが良いのでは、というのが1つで、2つ目はこれからスマホもどんどん普及するから、そういうことも検討したら良いのでは、ということ。加えて防災設備だけだと、それが駄目になった時には情報取得ができないので、他の物も委嘱できるような環境整備をしましょうね、ということがここで言いたいわけですよ。なのでそれを整理して書く必要があるかなと。

そうすると、災害情報の伝達とか、この異常気象による災害の多発・激甚化というのは、これは防災に対する必要性が書かれているから、ここで言いたいこととこれは直接関係ありません。これは情報の種類の話なので。そうするともう少し短くしながら整理できるのではないかと思います。

飛野委員長
三浦委員
飛野委員長

例えば。

それは書く時間がないと難しいと思います。

お諮りしたいのですが、時間の制約がある中で集まりましたが、大事な部分はもう少し進める必要があるかと思っています。

布施副委員長

この部分と、局長が言ったここだけは確認しないと、また同じことになる。

飛野委員長

どちらにしてもこのままでは提言として提出は難しいと思います。皆さんからいただいた貴重な意見を再度こちらで整理させていただき、まとめたものを再度お諮りする機会をいただきたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

川上委員

先に案を流してください。

飛野委員長

できれば今日の予算委員会終了後に再度ご足労願いたいのですが。何日も置くのは難しいので。とりあえずお集まりいただくというところまでご確認いただけたら嬉しく思います。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ではそのようにさせていただきます。

串崎委員

昼休みにある程度作っておいてもらって。

飛野委員長

今おっしゃったことをまとめられたらと思います。

[9時 35分 休憩]

[16時 28分 再開]

飛野委員長

休憩前に引き続き会議を再開します。休憩前に皆さんからいただいたご意見をまとめさせていただいています。修正したものを副委員長から発表させていただきます。それを聞いていただいた後に皆さんのご意見をうかがいます。

布施副委員長

(以下、資料をもとに説明)

飛野委員長

副委員長から修正案の発表がありました。これについて皆さんご意見があればご発言願います。

三浦委員

(3)のイは説明されましたか。

布施副委員長

すみません、これは柳楽委員の指摘により、免許返納者だけでなく敬老福祉乗車券全体的なものを入れてやるということで、5ページ(3)、住民意識の醸成、公共交通の利用促進ということで、文章読み上げます。

(以下、資料をもとに説明)

このような言葉に変えさせていただきました。

飛野委員長

以上、追加説明がございました。お気づきの点があればお願いします。

川上委員

2ページの(2)、地域情報の拡散にも活用され、有効な情報受信設備として以前から活用されている。活用され、が続いているのでどうかと思っただけです。

柳楽委員

地域情報の拡散等、有効な情報受信設備とつなげたらどうでしょう。

飛野委員長

皆さん今の案でよろしいですか。

(「はい」という声あり)

ではそのようにいたします。他に。

西川委員 今の所の「地域情報の拡散」なのですが、拡散より伝達の方が良いのではないかと思いますが。

飛野委員長 皆さんご意見は。採用ですか。

(「はい」という声あり)

では採用。

西川委員 あと3ページ、アの「ポケットベルの導入」ですが、「ポケットベル電波の導入」かなと。3行目「送信機」とありますが「送信局」ではないかと思いますが。「1つの送信局で」の方が良いかと思いますが。

布施副委員長 山の上の鉄塔等は送信機でしょう。そこに局から発信して戸別に行く。

西川委員 失礼しました。

飛野委員長 他に。

西川委員 5ページのイ「公共交通の利用促進」のところですが、文章内に公共交通という言葉が入ってない。まだまとまってないのですが。「敬老福祉乗車券の交付対象者へは、外出する機会を関係部局と連携して」すみません。まとまってないです。

芦谷委員 4ページのエ、この外部局はこの多で良いか。

布施副委員長 多いではないですね。他です。

飛野委員長 ご指摘ありがとうございます。他に。

布施副委員長 6ページの「前回も同様に共通する以下の4点の」は「以下4点の」ではおかしいですか。「の」は1つ要らないでしょう。

あと今の所は修正して、西川委員、公共交通のは文字を入れないといけませんか。

西川委員 いや、もうまとまらないので良いです。

三浦委員 2ページの提言1(2)「複数手段による情報取得の推進」まで入れておいた方が良くないかな。

飛野委員長 皆さんいかがですか。

(「賛成」という声あり)

はい採用。

西川委員 その前の1(1)「ブロードバンド」のところの下、1行目の一番終わりに「他ならない」の「他」が漢字なのが奇異な感じがするのですが。ひらがなの方が良いのではないかと。

古森局長 4ページで新しくできた「自治体サービスの対応多角化」の所と、5ページ(4)のイ「行政サービス」。自治体サービスと行政サービスと両方使っているの、どちらかに揃えたいと思いますが、どちらがよろしいですか。

(「行政サービスの方が良いのでは」という声あり)

飛野委員長 行政サービスでお願いします。他に。皆さんよろしいでしょうか。

三浦委員 少し待ってください。これ「自治会サービス」の誤字ではないですか。各地域がやっている、梶原みたいな話をここで言っているのですよね。

ただ車で輸送するだけではなく地域で各種サービスをやりましょうということが書かれているので、行政ではなく自治会や、自主組織におけるサービスの多角化とかの方が良いです。

川上委員
飛野委員長
三浦委員
芦谷委員
飛野委員長
三浦委員

地域事業だな。

今の所、まとめで再度お願いします。

多角的な地域事業の設計。

提案します、多様な地域事業の推進。

どちらにしましょう。

多角化というのは、新たな分野に進出するという意味があるので、新しく何かを始める時には「多様」より「多角」の方が良いと思います。

飛野委員長

皆さんどうですか。

(「はい」という声あり)

では多角化でまいります。

古森局長
飛野委員長

「多角的な地域事業の推進」ですか。

それでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

決まりました。そのようにさせていただきます。他はよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

後の流れを事務局から説明をお願いします。

古森局長

3月の時には、最終調整は正副委員長がやり、定例会中に議長にまず報告、それから最終日に本会議で中間報告、この委員会がなくなるまでずっと中間報告になるのですが、中間報告の中でこれまでの状況や、今回の提言のことも含めて本会議で委員長報告をする。後で市長との日程調整になるのですが、その後になるかそれまでになるか分かりませんが、提言書を議長、委員長から市長に渡す、という流れになると思っています。日程はこれから。議会では最終日の本会議で委員長から報告します。

飛野委員長

説明がありました。そのような形で進めてまいります、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ではそのように取り計らいさせていただきます。

2. その他

飛野委員長
古森局長

その他。次回は。

次の委員会がどうなるか、今のところ分からないので、次回は未定ということ。

飛野委員長

その他、皆さん何かございませんか。

(「ありません」という声あり)

以上で、本日の委員会は終了します。お疲れさまでした。

(閉 議 16時40分)

浜田市議会委員会条例第 65 条第 1 項の規定により委員会記録を作成する。

中山間地域振興特別委員会 委員長 飛 野 弘 二 ⑩